

省エネルギーセンター

賛助会員サービスについて

ご紹介します

member@eccj.or.jp

電話：03-5439-9713

FAX: 03-5439-9777

月刊「省エネルギー」誌に掲載した

賛助会員サービス記事の一部をご紹介します。

2021.5

1. 情報提供

賛助会員専用サイトにて省エネデータベース、実践事例等提供

賛助会員専用ページ

掲示板

- 2020.11.12 [会員専用 Web サイトに平成 29 年度省エネ大賞全応募事例（29 件）を掲載しました](#)
- 2020.11.09 [ENEX2021 同時開催セミナーの賛助会員先行登録を開始!!](#)
- 2020.10.30 [「2021省エネルギー手帳」「2021ビル省エネ手帳」の予約申込を開始しました](#)
- 2020.10.22 [【賛助会員割引有】人材育成講座をご案内](#)
- 2020.10.15 [エネルギー管理研修の、申込み受付期間を延長しました](#)

省エネステーション
■省エネ法関連
省エネ法の解釈・運用
提出書類について(届出書・計画書・報告書の記載方法)
温対法関連
省エネ投資に対する支援制度・他関連情報
省エネ法に基づく行政のチェック
■省エネルギー技術
省エネ優秀事例
省エネ関連資料
節電関連資料
省エネルギー関連報告書等
■省エネ文献データベース
省エネ文献データベース
■表彰関連情報
表彰募集案内
受賞者一覧

会員ログアウト

省エネステーション

耳寄り情報

- 令和2年11月12日号掲載

省エネ実践事例集 即役立つ! 現場の省エネモデル事例集

- 製造業編 R2.7更新 [製造業編 要約版 R2.7更新](#)
- 業務部門編 R2.6更新
- 「製造分野のエネルギー管理」再考 (H28.10 省エネ誌記事抜刷) (PDF) H28.11

省エネ製品・サービス紹介サイト (無料)

H29.7

- 掲載要領 (PDF)
 - 登録フォーム(お申込みはこちら)
 - サイトイメージ (PDF)
- ※ご質問はこちらからお願いたします。

省エネ簡易診断ワンポイントサービス

- 工場・ビルエネルギーフロー評価ツール(Ene-CAT) [Ene-CAT 概要](#) H29.3更新
- 省エネポジション自己判定ツール
- ビル省エネ対策提案ツール

省エネ訪問相談サービス (無料)

H29.4

省エネネタが見つからない、省エネ実施体制がうまく機能しない等のお悩みについて現場で相談をお受けする訪問サービスです。

お申込みは、こちらから => [省エネ訪問相談サービス申込書](#) (xlsx)

海外省エネ情報提供サービス

R2.3

わが社の省エネ戦略

月刊省エネルギー誌インタビュー

R2.7 更新

特別企画講座等資料

- 判断基準解説と「内部監査」活用エネルギー管理 H30.7
- ENEX2018 ミニセミナー 発表資料一覧 H30.3
- IoTを活用した設備・システムの全体最適制御と新たな省エネ手法・事例 (PDF) H29.12
- 連携制御診断による省エネ改善実施事例 (PDF) H29.12
- 事業者向け空調省エネ技術資料 (PDF) H29.5
- 省エネ優秀事例見学会 資料 (省エネ政策動向と企業間連携等の最新省エネ事例) (PDF) H29.5
- ENEX2017 ミニセミナー 発表資料一覧 H29.3
- 「LED照明の技術動向と進展」資料 (PDF) H28.7
- IoTから見たビル系の省エネと実務(実務編)資料 H28.6
- IoTから見たビル系の省エネと実務(基礎概要編)資料 H28.4
- ENEX2016 ミニセミナー 発表資料一覧 H28.2

「省エネ実践事例集」(製造業編, 業務部門編)のご紹介 (賛助会員向けサービスより)

省エネルギーセンターは「省エネを通じて社会に貢献」すべく省エネ推進の中核的機関として、エネルギー管理技術を活用した産業省エネの支援、家庭・地域・企業への情報発信、人材育成、省エネを通じた国際貢献などさまざまな分野で活動しています。このような当センターの活動にご賛同いただける法人を募集していますので、ぜひ賛助会員入会をご検討ください。

賛助会員の皆様へ提供しているサービスから、今回は『省エネ実践事例集』(製造業編, 業務部門)を紹介し

ます。この『省エネ実践事例集』は、当センターが保有する3,200件以上の省エネ事例の中から、特に現場で応用しやすい事例を抽出し、「製造業編」と「業務部門編」に分けて、要約・整理したもので、会員専用WEBサイトに掲載しています。

他にも会員専用サイトでは、過去の省エネ大賞受賞事例や省エネルギー優秀事例全国大会などの省エネ事例が検索できる「工場・ビル省エネルギー実施事例」ページも設けています。3,200件以上の事例から、実施年度、業種、設備などのキーワード検索が可能です。

「省エネ実践事例集」の概要

「省エネ実践事例集 (製造業編)」

生産運動エネルギーと固定エネルギーを区分し、生産工程特有の省エネに注目するなど、現場の省エネ実践に有効な視点に配慮して、以下の7項目に分類。

項目	省エネ対策の視点
I. 非稼働時の省エネ	1. 休日における電力削減等
	2. 工程の立上げ時や昼休み等における省エネ
	3. 待機時等 非稼働時における省エネ
II. 加工方法の合理化による省エネ	1. サイクルタイムの短縮
	2. 機械加工、クーラント工程での省エネ
	3. 成形、鋳造加工、塗装 各工程での省エネ
III. 生産工程の合理化による省エネ	1. エネルギー供給の改善や見える化等、管理面からの省エネ
	2. 各生産工程等の改修による省エネ
	3. 濃度・流量、圧力の見直し等による省エネ
IV. 空気圧システムの省エネ	1. コンプレッサーの改造・運用改善
	2. エア漏れ、圧力の低減
	3. 圧力の見直しや圧力制御による省エネ
	4. 圧縮機吸入空気の冷却、圧縮空気の効率的乾燥
	5. エアブローのブロワ化
V. 炉・ボイラ等の省エネ	1. 熱ロス削減による省エネ
	2. リジエネバーナー導入
	3. ボイラ新気系統の改造による省エネ
VI. 空調・冷凍設備の省エネ	1. 空調システム・冷凍設備の省エネ
	2. BEMS活用・チューニング等による省エネ
VII. 廃熱回収による省エネ	1. 製造工程における廃熱回収
	2. コージェネを活用した廃熱回収

「省エネ実践事例集 (業務部門編)」

業務分野における今後の省エネ活動への適応性や応用性を考慮し、最近の事例を中心に選定。対象となる施設の特性を踏まえて整理し、3項目に分類。

項目	省エネ対策の視点
I. 省エネ運用改善等総合対策	1. 業務用ビルにおける省エネ総合対策
	2. 公共・教育施設の省エネ総合対策
	3. 商業施設の省エネ総合対策
	4. 病院の省エネ総合対策
II. BEMS等ITの活用	1. 業務用ビルにおけるBEMS等の活用
	2. 公共・教育施設におけるBEMS等の活用による省エネ対策
	3. 商業施設におけるBEMS活用等による省エネ対策
	4. 病院におけるBEMS等の活用による省エネ対策
III. 省エネ・ソリューション・ビジネスの活用	1. 業務用ビル等に係るソリューション・ビジネスの活用
	2. 公共・教育施設におけるESCOなどの活用
	3. 商業施設におけるESCOの活用などによる省エネ対策
	4. 病院におけるESCOなどの活用による省エネ対策

省エネ実践事例集サイト

省エネ実践事例集（製造業編） ～即役立つ！ 現場の省エネモデル事例～

はじめに

I. 非作業時の省エネ

1. 休日における電力削減等
2. 工程の立上げ時や昼休み等における省エネ
3. 待機時等、非作業時における省エネ

II. 加工方法の合理化による省エネ New R2.7更新

1. サイクルタイムの短縮
2. 機械加工、クーラント工程での省エネ
3. 成形、鍛造加工、塗装 各工程での省エネ

III. 生産工程の合理化による省エネ New R2.7更新

1. エネルギー供給の改善や見える化等、管理面からの省エネ
2. 各生産工程等の改竄による省エネ
3. 温度・流量、圧力の見直し等による省エネ
4. 総合的な省エネ

IV. 空気圧システムの省エネ New R2.7更新

1. コンプレッサの改造・運用改善
2. エア漏れ、圧損の低減
3. 圧力の見直しや圧力制御による省エネ
4. 圧縮機吸入空気の冷却、圧縮空気の効率的乾燥
5. エアブローのプロワ化

IV. 空気圧システムの省エネ

1. コンプレッサの改造・運用改善 (PDFファイル形式)

- 事例1: [コンプレッサの設備改造 その1\(自動車用小型モータ製造\)](#)
- 事例2: [コンプレッサの設備改造 その2\(機械製造工場\)](#)
- 事例3: [コンプレッサの設備改造 その3\(照明機器製造工場\)](#)
- 事例4: [コンプレッサの運転管理改善\(制御装置等製造工場\)](#)
- 事例5: [空気圧システムの総合的省エネ\(半導体工場\)](#)
- 事例6: [複写機消耗製品の製造におけるエア供給の最適化による省エネ](#)

2. エア漏れ、圧損の低減 (PDFファイル形式)

- 事例1: [エア漏れ対策 その1\(自動車工場\)](#)
- 事例2: [エア漏れ対策 その2\(自動車用小型モータ製造工場\)](#)
- 事例3: [エア圧力損失の削減\(アルミ鋳造工場\)](#)

3. 圧力の見直しや圧力制御による省エネ (PDFファイル形式)

- 事例1: [エア圧力の低減 その1\(自動車工場 配管系統改善\)](#)
- 事例2: [エア圧力の低減 その2\(計測機器等製造工場\)](#)
- 事例3: [エア圧力の低減 その3\(食品工場\)](#)
- 事例4: [エア末端圧の制御\(自動車工場\)](#)
- 事例5: [工場における圧縮空気に係る省エネ\(自動車部品製造工場\)](#)

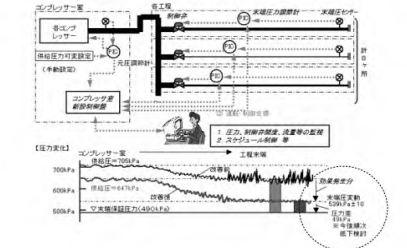
4. 圧縮機吸入空気の冷却、圧縮空気の効率的乾燥 (PDFファイル形式)

- 事例1: [圧縮機吸入空気の冷却\(半導体素子、集積回路製造工場\)](#)
- 事例2: [圧縮空気の乾燥の効率化\(半導体装置製造工場\)](#)

IV. 空気圧システムの省エネ

3. 圧力の見直しや圧力制御による省エネ 事例4: エア末端圧の制御(自動車工場)

- (1) 概要
自動車製造工場では、圧縮エアを末端保圧圧力の維持を念頭に供給しているが、その制御を怠っていたため元圧は高めに設定されていた。今回、工場毎に圧力制御弁を設け、末端圧の負荷量に合わせた圧縮エアを供給できるよう変更を行った。
- (2) 現状
工場全体の年間電力消費比率をみると、エア圧縮機の使用量が多い。また、以下のような運転を行っているが、末端圧力については常時監視ができず、安全率を見込んでコンプレッサ元圧力を高めに供給している。
①使用工程のみ運転操作(中央監視装置)にて、運転弁を開閉し圧縮エアを供給。
②低圧エアは、ターボ圧縮機1台をベースにレシプロ圧縮機が必要量を調整して供給。
③高圧エアは、ブースター圧縮機1台を運転して供給。
- (3) 対策の内容
①各工程末端(8箇所)に圧力センサー・調節弁・調節計を取り付け、末端圧力を中央監視装置で常時監視することにより、スケジューリング制御を可能にした。
②稼働・非稼働時の圧力設定を変更し、末端圧力調節弁で開度調整を自動で行うように改修した。これにより、エア流量と末端圧力を調節弁開度にて管理し常時最適な供給圧力にすることができた。



省エネ優秀事例／省エネ大賞事例

省エネ優秀事例、省エネ大賞事例 3500件以上を掲載しています。
フリーワード検索ができます

((工場・ビル省エネルギー実施事例))

年度を指定する

 事例を指定する

年度	準備中	省エネ大賞(省エネ事例部門)	(事例件数 39)	省エネ大賞へ
▶ 平成30年度	優秀事例	省エネ大賞(省エネ事例部門)	(事例件数 29)	省エネ大賞へ
▶ 平成29年度	優秀事例	省エネ大賞(省エネ事例部門)	(事例件数 36)	省エネ大賞へ
▶ 平成28年度	優秀事例	省エネ大賞(省エネ事例部門)	(事例件数 54)	省エネ大賞へ
▶ 平成27年度	優秀事例	省エネ大賞(省エネ事例部門)	(事例件数 60)	
▶ 平成26年度	優秀事例	省エネ大賞(省エネ事例部門)	(事例件数 55)	
▶ 平成25年度	優秀事例	省エネ大賞(省エネ事例部門)	(事例件数 67)	
▶ 平成24年度	優秀事例	省エネ大賞(省エネ事例部門)	(事例件数 37)	
▶ 平成23年度	優秀事例	省エネ大賞(省エネ事例部門)	(応募事例数 54)	
▶ 平成21年度	優秀事例	省エネ大賞(組織部門)	(事例件数 12)	

Results:

References: [+url:/member/member_area/energy_technology/success/4202] [ZEB: 26]

Total 26 documents matching your query.

1. 「国内初の標準型ZEB」の実現を用いた超省エネ建築の - 193 - 図2. 「都市型 ZEB」年間のエネルギー収支の集約 図1. 「ZEB 実証機」の外観写真と建築概要 [省エネ(エネルギー)センター会員] 「国内初の標準型ZEB」の実現を用いた超省エネ建築の普及活動 キーワード: 大成 https://www.eco.or.jp/member/member_area/energy_technology/success/157/h27_iv_193_tassa.pdf (1,619,662 bytes)
2. H30 中規模オフィスビルの更新による普及型ZEBの実現 [高エネルギー庁長官(実務分野)] 中規模オフィスビルの更新による普及型ZEBの実現キーワード: ダイキン工業株式会社 中規模オフィスビル、省エネ空調、断熱性能測定、普及型 ZEB 更新 1. サマリー 1.1 企業 https://www.eco.or.jp/member/member_area/energy_technology/success/193/h30_014_daijinkogyo.pdf (2,936,229 bytes)
3. H29 国産自動車向けにおける地域の歴史・風土・資源を活かした ZEB の実現 [高エネルギー庁長官(実務分野)] 国産自動車向けにおける地域の歴史・風土・資源を活かしたZEBの実現 株式会社日本設計 キーワード: 豊田自動車株式会社 ZEB、見える化、地産地消 株式会社中林建築設計事務所 1. サマリー 1 https://www.eco.or.jp/member/member_area/energy_technology/success/176/h29_034_nipponsekei.pdf (2,249,760 bytes)
4. H29 最先端技術活用による省エネZEB、高効率オフィスの実現 [高エネルギー庁長官(実務分野)] 最先端技術活用による省エネZEB、高効率オフィスの実現 キーワード: ダイキン工業株式会社、株式会社日本設計 キーワード: 株式会社日本設計総合研究所 見える化、ビルマル、扇形 株 https://www.eco.or.jp/member/member_area/energy_technology/success/176/h29_016_daijin.pdf (3,264,807 bytes)

■省エネルギー関連報告書

●「省エネルギー関連報告書等」

経済産業省が公表している調査報告書約 80 件を「省エネルギー」「家庭の省エネ」「国際」「エネルギー」「新エネルギー」「戦略・統計」に分類し、掲載。従来の内容に平成 27 年度の報告書を追加しました。以下の報告書は、エネルギー管理に携わる方必見です。

- ・工場におけるエネルギー使用状況調査事業成果報告書
- ・工場等判断基準遵守状況等分析調査報告書

省エネルギー関連報告書等 抜粋

省エネルギー

工場等におけるエネルギーの使用状況及び管理実態に関する調査事業調査報告書 (H27年度)

工場のエネルギー使用状況調査事業成果報告書 (H23～26年度)

工場等及び荷主の判断基準遵守状況等分析並びに特定事業者等管理標準ガイドライン作成調査報告書 (H27年度)

工場等判断基準遵守状況等分析調査報告書 (H23～27年度)

家庭の省エネ

エネルギー使用状況等の情報提供による家庭の省エネルギー行動変容促進効果に関する調査報告書 (H27年度)

待機時消費電力調査報告書 (H19、20、24年度)

「ライフスタイルチェック25」の各行動と省エネ効果に関する調査 (H16、17年度)

国際

海外における再生可能エネルギー政策等動向調査報告書
再生可能電力分野の促進 (H27年度)

省エネ・再エネ等マルチ枠組における国際動向調査 (H27年度)

省エネ等ビジネス世界展開促進事業報告書 (H27年度)

エネルギー

エネルギー需給動向調査 (H25～27年度)

エネルギー消費統計調査の集計及び利用分析に係る調査研究報告書 (H27年度)

国内外のエネルギー動向に関する調査・分析 (H27年度)

新エネルギー

中長期的な分散型エネルギーシステムとエネルギー産業の在り方に関する調査報告書 (H27年度)

蓄電池を活用した新たなエネルギー産業に関する調査報告書 (H27年度)

国内におけるスマートコミュニティ普及動向に関する調査報告書 (H27年度)

■省エネ製品・サービス紹介サイト

「省エネ製品・サービス紹介サイト」を公開

省エネルギーセンターの WEB サイトに、8 月上旬に「省エネ製品・サービス紹介サイト」を公開する予定です。

本サイトにはどなたでもトップページよりワンクリックでアクセスできます。省エネルギーセンターの賛助会員事業所が製造、販売、提供する省エネ性の高い機器・設備・システムを、空気調和、ボイラー、照明など省エネ法の判断基準に対応した分類で紹介し、ESCO など省エネサービスも取り上げます。賛助会員の皆様からの製品・サービスの登録を受け付けていますので、ぜひご検討ください。

The screenshot shows the website interface for '省エネ製品・サービス紹介サイト'. At the top, there's a navigation bar with '省エネ製品・サービス紹介サイト' highlighted. Below, a '分類' (Classification) section lists 17 categories, with '2. ボイラー設備' selected. This leads to a detailed page for 'ボイラー設備', which features two product listings with images and descriptions. The first is 'ボイラー用バーナ・省エネ機器 (日本ファーンズ株式会社)' and the second is 'エネルギー計測ユニット EcoMonitorPlus (三菱電機株式会社 福山製作所)'. A blue arrow indicates the navigation path from the main site link to this detailed product page.

2. 省エネアドバイス

■ 専用ツール利用 省エネワンポイントアドバイス

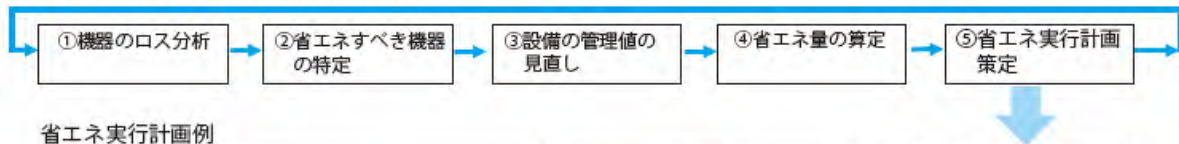
ECCJ INFORMATION

エネルギーフロー評価ツール(Ene-CAT)のご紹介 (賛助会員向けサービスより)

「工場・ビル エネルギーフロー評価ツール」(Ene-CAT)は、省エネ法における管理標準とエネルギーの管理方法のノウハウを確立する国際規格である ISO50001 を融合し、機器のロス分析(エネルギーフローの策定とロスの見える化・ロス率が大きい設備・機器の特定)の実施と省エネ実行計画の策定をサポートします。賛助会員にはこのツールを利用した機器のロス分析、省エネ対象となる設備・機器の特定が無料で実施できます。

工場・ビル エネルギーフロー評価ツール (Ene-CAT) の概要

○ Ene-CAT における省エネ検討のプロセス

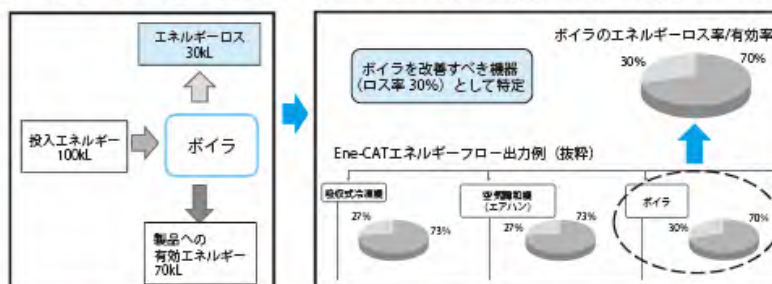


省エネ実行計画例

No	設備名称	省エネ施策	省エネ効果			投資金額 (千円)	担当	期限
			削減電力量 (kWh/年)	省エネ量 (kL/年)	削減金額 (千円)			
1	ボイラ	空気比低減による燃料消費量低減	0	2.4	213	0	A	2017/3
2	空調 (熱源機器)	冷却水温度の引き下げ (ターボ冷凍機)	14,845	0	281	0	B	2017/2
3	圧空設備 (コンプレッサ)	コンプレッサの 吸い込み空気温度の低下	4,452	0	84	100	C	2017/2
合計			19,297	2.4	578	100		

○ Ene-CAT の提供機能

- ①機器のロス分析 ②省エネすべき機器の特定 (賛助会員には無料で実施、一般の方にも有償で実施)
エネルギーフローの策定とロスの見える化により、ロス率が大きい設備・機器を特定します。



- ③設備の管理値見直し ④省エネ量の算定 ⑤省エネ実行計画策定 (有償)

管理標準の管理規定 / 基準を見直し、管理基準の変更による省エネ量を算出します。



○ 問い合わせ先

- ① ②: 一般財団法人省エネルギーセンター 支援サービス推進部 会員専用窓口
TEL 03-5439-9713 FAX 03-5439-9719 E-mail member@eccj.or.jp
賛助会員専用サイトより申込書をダウンロードできます。
- ③ ④ ⑤: 一般財団法人省エネルギーセンター 人材・ソリューションセンター
TEL 03-5439-9735 FAX 03-5439-9777 E-mail solution@eccj.or.jp

省エネポジション自己判定ツールのご紹介 (賛助会員向けサービスより)

省エネポジション自己判定ツールの概要

エネルギー管理指定工場などのデータや省エネルギーセンター独自のデータなどを活用し、同業種他社とエネルギー使用量、原単位とその推移などを比較することで、対象事業所の省エネポジションの把握・判断に役立つ報告書を提供します。

○サービス対象業種

【製造部門 10種類】

鉄鋼業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業、窯業・土石製品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、電気業、輸送用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、食料品製造業、非鉄金属製造業

【業務部門 9種類】

各種商品小売業、水道業、不動産賃貸業・管理業、学校教育、医療業、宿泊業、通信業、学術・開発研究機関、廃棄物処理業

○判定のために提出いただくデータ

提出いただくデータは省エネ法の定期報告書や中長期計画書の写しを利用することが可能です。

【申し込み工場などの概要】

会社名、工場名、業種、産業分類番号 など

【定期報告書の内容】

エネルギー使用量、エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値とその名称と単位、エネルギーの使用に係る原単位、原単位の対前年度比 など

【中長期計画書の内容】

最近実施した省エネ効果のある設備投資・実施項目 など

○省エネルギーセンターから提供する情報

- 1) 同業種におけるエネルギー管理指定工場などのエネルギー使用量との比較
- 2) 同業種におけるエネルギー管理指定工場などの原単位比の推移との比較
- 3) 同業種におけるエネルギー使用量と出荷額との比較（一部業種を除きます）
- 4) 同業種におけるエネルギー管理指定工場などの燃料種別エネルギー使用量の推移
- 5) 同業種におけるエネルギー管理指定工場などの中長期計画書の内容

○申し込み方法

当センターホームページの賛助会員専用ページから申込書をダウンロードできます。

毎月先着順で10件程度を受け付けていますので、お早めにお申し込みください。

https://www.eccj.or.jp/member/member_area/lawrelation/position/index.html

○問い合わせ先

一般財団法人省エネルギーセンター 会員部

TEL 03-5439-9713 FAX 03-5439-9719

E-mail member@eccj.or.jp

賛助会員入会に関するお問い合わせ、賛助会員サービスについてのご意見、ご要望がありましたら、会員部までぜひお寄せください。

省エネポジション判定結果報告書イメージ

お申し込みいただいた事業所の各種データを基に、以下のようなグラフを提供します。

同業他社のエネルギー使用量やエネルギー原単位と比較することにより、自身の省エネポジションを判断することができます。

図-1、図-2、図-3の★印は対象事業者のポジションを示します。

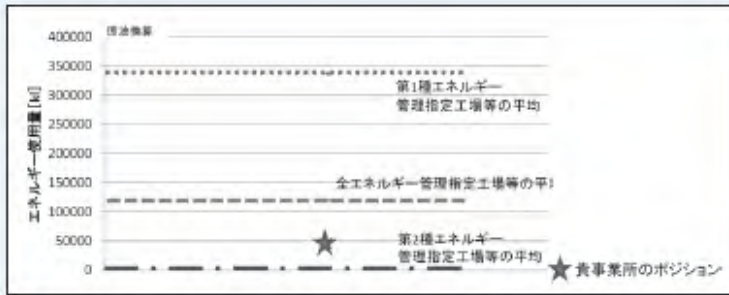


図-1 同業種におけるエネルギー管理指定工場などのエネルギー使用量との比較

対象事業者のエネルギー使用量は同業種のすべての指定工場の平均より少なく、第2種エネルギー管理指定工場等の平均より高いことがわかります。

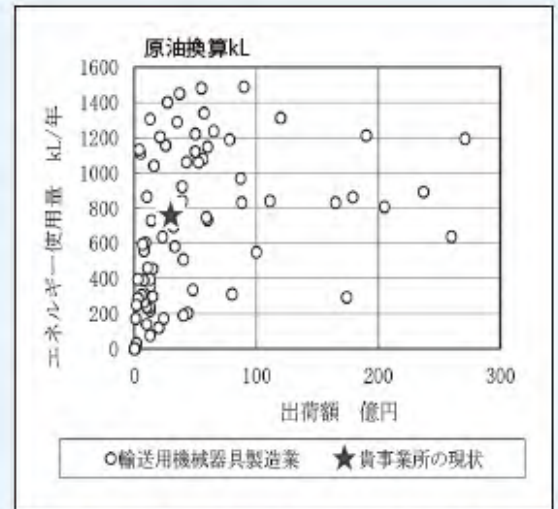


図-3 同業種におけるエネルギー使用量と出荷額との比較（一部業種を除きます）

当センターが実施した同業種の省エネ診断のうち、出荷額とエネルギー使用量の関係を示します。対象事業者は同業他社と比べ原単位が高くなっています。

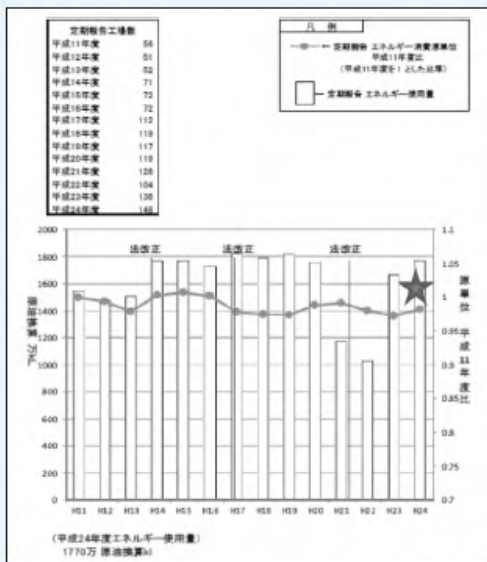


図-2 同業種におけるエネルギー管理指定工場などの原単位比の推移との比較

同業種の指定工場などのエネルギー使用量の合計と平成11年度からの原単位比の推移を表しています。対象事業者の原単位比は、平均よりやや高い比率です。

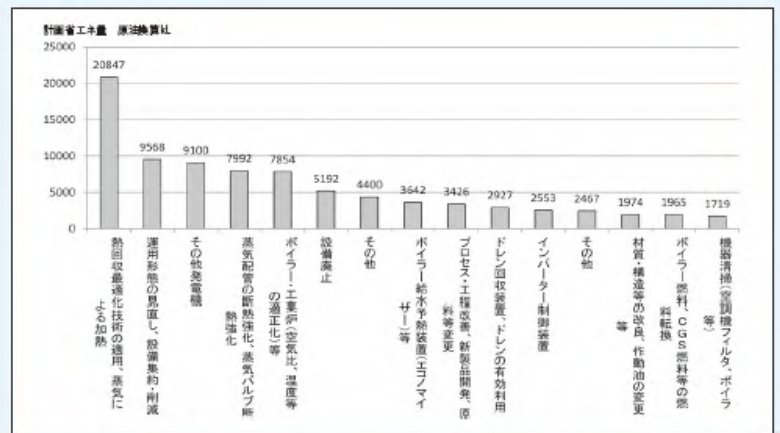


図-4 同業種におけるエネルギー管理指定工場などの中長期計画書の内容

中長期計画書に記載された同業種の他社が行っている取り組み内容ごとの計画省エネ量（原油換算kL）の合計を表します。削減量の多い取り組みがわかります。

ビルの省エネ対策提案ツールのご紹介 (賛助会員向けサービスより)

ビルの省エネ対策提案ツールの概要

当センター保有の「業務用ビルのエネルギー消費目標値算定ツール (ECTT:エクト)」*を用いた計算サービスと分析結果に基づく省エネアドバイスをを行います。

○提供するサービス

- ・ビルの立地、用途を考慮した平均的な省エネ対策の効果（ピーク電力、ガス、油、DHC の低減効果）
- ・当センター保有の建物種別の原単位分布と上記計算結果における原単位比較
- ・省エネルギー対策実施へのコメント

○対応可能な建物7種

- ①オフィスビル ②卸・小売店 ③食品スーパー ④医療機関 ⑤ホテル・旅館 ⑥学校 ⑦コンビニ

○サービス利用に当たって提出いただくデータ

- ・部門別床面積、地上・地下階数
- ・外壁・屋根・ガラス仕様
- ・平均在館人数
- ・主熱源・空調方式情報、他

○上記データに基づき当センターから提供する情報

- ・電気、ガス、地域熱供給などエネルギーの種類別消費量、消費先別消費量、エネルギー消費原単位
- ・夏冬ピーク日の電気、ガス、油、地域熱供給などの時刻別消費量

○申し込み方法

省エネルギーセンターホームページの賛助会員専用ページ（アクセスにはID 番号が必要）から申込書をダウンロードできます。

URL https://www.eccj.or.jp/member/member_area/lawrelation/s-diagnosis/index.html

ビルの省エネ対策提案報告書のイメージ



○問い合わせ先

一般財団法人省エネルギーセンター 会員部

TEL 03-5439-9713 **FAX** 03-5439-9719

E-mail member@eccj.or.jp

* ECTT について

ビルの部門別・設備別エネルギー消費を求め、省エネポテンシャルを計算するツールで、賛助会員以外の方も下記 URL から無料でダウンロードが可能です。

URL <http://www.eccj.or.jp/audit/ectt/index.html>

計算結果は以下のような検討に応用できます。

- ①建物全体のエネルギー消費量を把握
- ②部門別のエネルギー消費割合把握
- ③消費先別のエネルギー消費割合を把握
- ④室温変更、熱源機器の更新、各種省エネ技術の採用などを実施した場合の省エネ効果の定量評価
- ⑤電力ピークの算出によるピークカット対策の立案
- ⑥現状の省エネ対策と今後の採用検討対策の効果確認
- ⑦今後の省エネ対策ごとの省エネポテンシャルの確認
- ⑧自由な試算によるさまざまな省エネ対策の検討

3. 人材育成支援

賛助会員様参加無料の特別企画講座を開催します。

特別企画講座「IoT から見たビル系の省エネルギーと実践」を開催しました

新たな省エネの可能性を広げる技術として、今、注目を集めているIoT技術。省エネルギーセンターでは、省エネに係るIoT技術の最新動向、導入事例と効果、新たなビジネスモデルなどを紹介する講座を基礎概要編、実務編の2回に分けて開催しました。

<基礎概要編> 4月22日(金)開催

- ・IoT技術、BEMSを活用したビルの省エネの最新動向
- ・省エネ大賞受賞者にみるIoT技術の活用事例
- ・IoTベンチャー企業の複数社の協業によるIoTゲートウェイを利用した



新たなビジネスモデル

<実務編> 6月10日(金)開催

- ・IoTを利用した空調システムの制御方法の具体例
- ・FDD(不具合検知システム)を使った保守点検の高度化の成果と課題
- ・IoTサービスの構成要素と要素選択のポイント、導入時の留意点と工程
- ・IoTを活用し省エネ・コスト削減・顧客サービス向上をパッケージ化したビジネスモデルとIoT技術の広範な活用例

講師陣には、アイ・ピー・テクノスの河野進氏、インテルの永井寿氏、ジョンソンコントロールズの齊藤央氏、SASSORの矢嶋耕平氏、MASSの鎌田拓史氏を迎え、それぞれの現場から見た最新の技術情報や導入事例、導入の効果などを具体的に語っていただきました。講師から参加者へは「IoT導入を検討する際、センシング技術は単なる手段であり、収集した情報で何をしたいかを見極めることが重要」とのア

ドバイスがなされました。講座終了後に開催した交流会では参加者同士、また、講師を交えた活発な情報交換や意見交換が行われ、この分野への関心の高さが表れていました。

実務編の参加者へのアンケート結果では、興味があった内容として、不具合感知システム、故障予知技術、ESCOと組み合わせたIoT導入事例、ベンチャー企業の協業ビジネスモデルなど新しい視点を含んだものが挙げられています。今後は、要望の多かった「空調システムにおけるIoT」「IoTから見たセンシング技術」など個別のテーマの講座を企画していく予定です。

なお、省エネルギーセンター賛助会員サービスの一環として、同講座で使用した資料を省エネルギーセンターWEBサイトの賛助会員専用サイトで公開しています。

URL <https://www.eccj.or.jp/member/index.php>

特別企画講座「LEDによる省エネ&最新情報」を開催しました

照明の省エネ推進に欠かすことのできないLEDの基礎や、器具による比較、照明リニューアル提案のポイント、及び最新LED器具について紹介する講座(賛助会員参加無料)をパナソニックエコソリューションズ社のご協力により、7月1日(金)に大阪・京橋の同社ショールームにて開催しました。実際のLED照明を使用した体感型講座で、30名の受講者からは、そのメリットについて、以下のようなご意見・感想をいただきました。

- ・本に載っているような話だけでなく、実際に使っているとこうなると、具体的な話が聞けてためになった。
- ・最新の照明設備などの情報が今後の照明設備更新の検討に役立つ。
- ・省電力だけでなく、色温度、光量の調節、水銀レス、紫外線の低減など、空間の質を高めるLEDの特徴を理解することができた。
- ・実際の展示品でLED照明の効果や色合いなどがよくわかり、今後の設備更新の参考になった。



LED照明の色合いを見比べる様子

なお、省エネルギーセンター賛助会員サービスの一環として、同講座で使用した資料を省エネルギーセンターの賛助会員専用サイト(<https://www.eccj.or.jp/member/index.php>)で公開しています。

4. 各種サービス

■月刊「省エネルギー」提供（無料）



月刊『省エネルギー』は、産業・業務部門、運輸部門などで省エネルギーを推進する方々が直面する問題とその解決策を示すわが国唯一の省エネルギー総合技術誌です。国の省エネルギー政策をはじめとする行政の動き、法律に関する情報はもとより、具体的な事例を豊富に取り上げ最新の省エネ技術情報や省エネ手法を紹介しています。

また、企業の省エネに対する考え方や方針、戦略などの経営的視点にも焦点を当て、生産効率や投資効果、あるいはCO2排出削減、BCP対策など省エネに関連する動きも広く捉え、省エネ担当者だけでなく、スタッフ部門の方々の参考になる記事も数多く掲載しています。

主な連載記事

- ・ 知のコンパス
- ・ わが社の省エネ戦略
- ・ 施策同行
- ・ ドキュメント・チャレンジ省エネ
- ・ 現場で役立つ省エネの基礎
- ・ 省エネ大賞・優秀事例にみる秀逸の取り組み
- ・ 省エネ法関連情報
- ・ エネルギー管理試験ーやさしい計算問題の解き方熱・電気
- ・ 新製品ニュース
- ・ ニュースヘッドライン
- ・ ECCJ INFORMATION

■書籍関連サービス

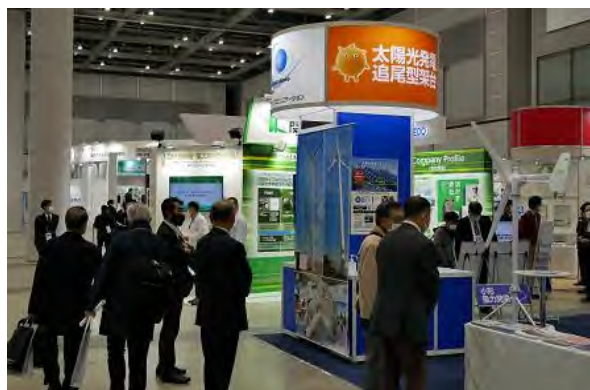
当センター発刊の書籍は送料無料でご購入いただけます。



■ENEX 出展割引

わが国唯一の省エネ・脱炭素技術の展示会である ENEX 展(実展示及びリモート配信)に会員価格で出展いただけます。

また同時開催されるエネルギーに関するセミナーに先行登録していただけます。



■省エネ推進功労者表彰 社内の省エネ意識向上にお役立てください

当センターではエネルギー使用合理化にご功績のある方々をご推薦いただくことで、エネルギー管理や省エネ推進等に貢献された方々をより広く顕彰するための活動を行っております。

工場・ビル等におけるエネルギー管理にご功績のある方々はもとより、省エネ関連ビジネスや省エネ診断等で実績を重ねてきた方々、省エネにかかる教育・普及、CSR、人材育成等に貢献してきた方々など、様々な分野において貢献されてきた方々を対象としておりますので、社内の省エネの意識向上にお役立てください。

令和2年度「省エネルギー月間表彰」 29 事業者と 94 名を表彰

毎年2月の「省エネルギー月間」に合わせて各地方経済産業局は、省エネルギーの一層の普及推進を図ることを目的に、省エネルギー推進に貢献した事業者等及び個人を表彰しています。

令和2年度は、エネルギー管理の推進に不断の努力を重ね、その成果が大であり他の模範となる事業者、事業所として「エネルギー管理優良事業者等」が29件、永年にわたりエネルギー管理の功績が極めて顕著な方として「エネルギー管理功績者」24名が経済産業局長表彰を受けました。また、省エネルギーセンターが顕彰している「省エネ推進功労者」では70名が表彰されました。

例年、全国8会場で開催される表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止の考慮から中止を余儀なくされた地区もありました。以下に受賞された方々を紹介します。



東北地区



四国地区

省エネ推進功労者

受賞者のみなさんから寄せられた「受賞のことば」を紹介します。

省エネルギーセンター北海道支部長表彰		
平賀 孝礼	日本製鉄株式会社 室蘭製鉄所	省エネはチームプレーです。これまで協力して頂いた各関係者に感謝いたします。
若林 良昭	出光興産株式会社 北海道製油所	今回の受賞を励みに、更なる省エネ意識を持ち継続的に取り組んでいきます。
省エネルギーセンター東北支部長表彰		
金子 長一	常磐共同火力株式会社 勿来発電所	今後も日々の意識を高めて、省エネ活動の推進に取り組んで参ります。
佐藤 敏行	東北電力株式会社 新仙台火力発電所	省エネ意識の継承、省エネの手法・効果を検討できる技術者育成に努めます。
鈴木 一	省エネルギーセンター エネルギー使用合理化専門員	地球温暖化防止は、生活等の質を落とさずにできる省エネが一番の近道です。
高橋 英明	酒田共同火力発電株式会社	省エネは小さな積み上げが大きな成果に、今後も継続し取り組んでいきます。
谷沢 義仁	日本海エル・エヌ・ジー株式会社	これからも省エネ意識を持って設備保全に取り組んで行きたいと思えます。
藤原 博	東北電力株式会社 新仙台火力発電所	今後も、省エネ推進のため、技術力向上と技術継承に取り組んで行きます。
省エネルギーセンター関東地区表彰		
伊藤 強志	横河マニュファクチャリング株式会社	エネルギーを大切にす皆の心を養うことが、重要だと思っています。
丑久保修大	富士通株式会社	現状に満足せず、新たな視点で更なる省エネ推進に努めて参ります。
大迫 修身	ケンコーマヨネーズ株式会社	省エネは勿体ないの積み重ね、全員参加の省エネ運動！がんばるぞ！

大塚 政勝	東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社	前例主義を見直し原理原則に基づき、今後も省エネルギーに尽力していきます。
川久保 健	有限責任事業組合サンエス	独り立ちした頃制定された省エネ法は私の仕事全てに関わる羅針盤である。
櫛田 靖夫	JFEアドバンテック株式会社	省エネに関わる方が求めている製品の提案開発を続けてまいります。
櫻井 春好	日立オートモティブシステムズ株式会社	目標達成に向けて、小さなことも、コツコツと粘り強く省エネ改善を進める。
佐々木久雄	株式会社積水化成品関東 関東工場	着実に管理することで足元を固め、既成概念に捉われず改善すること。
二階堂 宏	富士森永乳業株式会社	設備の特性を理解し、環境変化に対応した取り組みを継続的に行う。
平部 洋司	日本化学工業株式会社	エネルギーを見ること（見える化）は、無駄なエネルギーを無くす第一歩。
保坂 昌志	関東熱処理株式会社 栃木工場	今回の受賞を励みにし、創意工夫を重ね、更なる省エネの推進に努めます。
省エネルギーセンター東海支部長表彰		
小林 政晴	一般財団法人中部電気保安協会 豊川営業所	脱炭素社会の実現に向け、微力ながら省エネ活動に邁進していきます。
森山 公昭	ENEOS株式会社 知多製造所	「省エネ推進は、明るい未来への橋渡し！」をモットーに活動します。
河合 淳	ENEOS株式会社 知多製造所	常日頃から省エネを意識し、地球にやさしい環境を作ります。
葛山 健吾	キオクシア株式会社 四日市工場	チーム力を高め、様々な取組みを行い、省エネ活動を推進します。
増谷 直人	キオクシア株式会社 四日市工場	一人でも多くの子ども達に省エネの重要性を語りかけ、気づきを導きます。
平田 智裕	東亜合成株式会社 名古屋工場	今回の受賞を励みとし、今後も職場一丸となり省エネ推進に努めます。
西 伯和	出光興産株式会社 愛知製油所	明るい未来のため、英知を集め、拘りをもって省エネ活動推進に努めます。
前後 勝也	出光興産株式会社 愛知製油所	今回の受賞を糧とし、今後も自分の知識や技能を活かして省エネに励んで行きます。
高橋 哲也	トヨタ自動車株式会社 プラント・環境生技部	今後も謙虚に学び、だれかの幸せを思い、立ち止まらず省エネ活動に努めます。
齋藤 芳照	トヨタ自動車株式会社 プラント・環境生技部	省エネ活動の推進、省エネ意識の高い人材育成に努めます。
岡田 厚	株式会社JERA O&Mエンジニアリング本部 武豊火力建設所	日頃から省エネ意識を高く持ち、改善に向けた行動を継続していきます。
栗田 保則	株式会社JERA O&Mエンジニアリング本部 武豊火力建設所	今回の受賞に恥じぬよう、省エネ活動の推進と後進の育成に努めます。
是永 政彦	株式会社JERA O&Mエンジニアリング本部 四日市火力発電所	改善一つひとつに取り組み、更なる省エネ活動を推進します。
省エネルギーセンター北陸支部長表彰		
井浪 祐二	YKK株式会社 黒部事業所	今回の受賞は、関係各位のご指導の賜物と深く感謝いたします。
島 雄治	細川機業株式会社	省エネは全世界の課題なので、少しでも貢献していきたいです。
吉田 文男	北陸電力株式会社 七尾大田火力発電所	今後も省エネ活動に継続して取り組み、更なる省エネ推進に努めてまいります。
省エネルギーセンター近畿支部長表彰		
臼田 淳一	中外炉工業株式会社	脱炭素社会へ向け何ができるかを常に考え行動し、社会に貢献します。
小坂 陽一	大阪ガス株式会社附 Daigasガスアンドパワーソリューション株式会社	この度は令和2年度省エネルギー推進功労者表彰をいただき誠にありがとうございました。
坂下 哲朗	関西電力株式会社 姫路第一発電所	これがゴールではなく、さらに知恵を絞った省エネに邁進していきます。
柴田 健次	日本製鉄株式会社 関西製鉄所 和歌山地区	小さい項目でも途切れなく省エネ活動するように意識しています。
白川 修	株式会社関西エネルギーソリューション	火力発電所勤務時の保全に関わる省エネ活動を高く評価いただき感謝致します。
谷山 公勇	中外炉工業株式会社	更なる省エネ技術の進化と普及に努め、将来の脱炭素化に繋がりたいと思います。

中村 忠浩	パナソニック株式会社	たとえ時代がいかに推移し展開しようとも、省エネ活動に終わりなし。
菱井 元紀	花王株式会社 和歌山工場	今回の受賞は自職場皆の努力の賜物です。今後も協力し合い活動します。
福本 宏視	大阪ガス株式会社附 Daigasガスアンドパワーソリューション株式会社	省エネ活動の基本として確実な基データの収集と整理に取り組んで来ました。
藤田 政隆	日本製鉄株式会社 関西製鉄所 和歌山地区	省エネは適切な目標値（原単位）設定と毎日の積み重ねが重要と思います。
本庄 真啓	株式会社 ティエルブイ	名誉ある賞を頂いたことに感謝し、今後も省エネに努めます。
南 良弘	関西電力株式会社	大変光栄な受賞を機に引き続き職務を全うし更なる省エネ推進に努めます。
山下 隆	関西電力株式会社	エネルギーに携わる者として、本表彰を励みに引き続き精力的に取り組みます。
省エネルギーセンター中国支部長表彰		
生藤 祝生	瀬戸内共同火力株式会社	省エネ意識を常に持ち、日々の気づきを力に変え、更なる省エネに努めます。
板谷 勝己	瀬戸内共同火力株式会社	日頃のムダを解消し、更なる省エネルギーの推進に努めます。
川口 健太	JFEスチール株式会社 西日本製鉄所（倉敷地区）	今後も自由な発想でアイデアを発掘し、改善することに努めて参ります。
白石 敏郎	西部石油株式会社 山口製油所	これからも探求心を強く持ち、更なる省エネ管理に取り組む所存です。
竹崎 宏	マツダ株式会社	設備を安定・高効率に動かす為にトラブル防止やロス排除に取り組んでいます。
野村 篤志	JFEスチール株式会社 西日本製鉄所（福山地区）	今後も環境変化に対応しながら省エネ活動を推進していきます。
平岡 聖立	マツダ株式会社	今後も現場・現物を見極めて、最小限のエネルギー使用を追求していきます。
藤井 正行	JFEスチール株式会社 西日本製鉄所（倉敷地区）	省エネは日々の意識と行動の積み重ねが重要と考えます。今後も継続します。
本坊 大介	西部石油株式会社	未来が求めるエネルギーを考え、さらなる省エネルギーを図りたい。
前原 和彦	JFEスチール株式会社 西日本製鉄所（福山地区）	新しい技術を活用し、より省エネルギーに向けた取組を推進してまいります。
山崎 誠	日立金属株式会社 安来工場	今回の受賞を励みとし、職場と地域の省エネ活動の推進に一層努めます。
山根 淳	株式会社トクヤマ 徳山製造所	これからも、積極的に、継続的に、全体的に、省エネ推進していきます!!
吉田 健	東ソー株式会社 南陽事業所	今回の受賞を励みにして、更なる省エネの推進に取り組んで参ります。
省エネルギーセンター四国支部長表彰		
石山 真人	坂出LNG株式会社	日々精進して省エネ活動に努めて参ります。
佐々木正臣	四国電力株式会社 西条発電所	省エネは永遠のテーマです。今後も更なる省エネ活動の推進に努めます。
中東 禎胤	四電ビジネス株式会社 阿南総合事業所	今まで協力頂いた方々に感謝し、今後も省エネ推進、後進育成に努めます。
浜田 景介	四国電力株式会社 橘湾発電所	今回の受賞を励みにし、今後も小さな事でもコツコツと省エネを推進します。
森 吉幸	住友共同電力株式会社	あるべき姿とのギャップを定量化し、運用面のムダ・ムラを排除して行く。
省エネルギーセンター九州支部長表彰		
赤木 直志	株式会社福岡クリーンエナジー 東部工場	誠に有難うございます。沢山の方々のお力添え、ご協力の賜物だと思います。
鈴木 淳	西日本プラント工業株式会社	支部長賞ありがとうございます。今後も省エネ推進に尽力してまいります。
竹内 則敏	NSスチレンモノマー株式会社 大分製造所 アロマ工場	省エネを率先して実行し、その活動を継続する環境作りを行う。
山北 隆則	九州電力株式会社 佐賀支店	省エネはチャレンジと日々の継続が大切だと思っています。

5. 賛助会員の声

新入会の賛助会員様の「事業所紹介・入会動機・サービス利用について」を省エネ誌で随時ご紹介しています。

省エネ性と環境性を両立した
冷凍機の提案を

日本熱源システム株式会社

代表取締役社長

原田克彦

本部地区会員（2020年10月入会）



<会社紹介>

弊社は冷凍機のメーカーとして1987年に創業し、これまでオフィスビルや公共施設をはじめとする大型施設の冷暖房用の大型ヒートポンプを製造してきました。近年は冷凍機の冷媒に使用するフロンガスがオゾン層破壊や地球温暖化に悪影響を与えることがわかり、CO₂やアンモニアといった自然冷媒の冷凍機の製造に力を入れていて、冷凍冷蔵倉庫や食品会社、化学会社など産業用分野にも納入先を広げています。

2019年度にはCO₂冷媒冷凍機の「スーパーグリーン」に対し、省エネ大賞の「中小企業庁長官賞」を頂戴し、省エネ性と環境性の両立を評価していただきました。また再

生可能エネルギーの商品として、真空管ヒートパイプ方式の太陽熱集熱器を扱っており、太陽の熱から真冬でも温水を作り出せる新たな省エネツールとして注目を集めています。これからも省エネ性と環境性を追求した製品作りに取り組んでいきます。

<入会の動機>

省エネ大賞受賞を機に省エネルギーセンターの活動について案内を受け、センターの運営の趣旨に賛同し入会を決めました。今後は会員活動を通じて、皆様の省エネに対するご要望や方向性を知る勉強の場にしたいと考えています。

<会員サービスについて>

会員向けの講座を受講することで、社員の知識向上を図ると共に省エネルギーの方向性を学んでいきたいと思えます。また月刊「省エネルギー」の広告を通じて皆様に弊社の製品を知っていただくと共に、冷凍機や太陽熱集熱器に関する新技術やシステムに関する技術論文も発表していきたいと考えています。

安全・安心な商品の提供を
ミッションに、地球にやさしく
環境に配慮する工場を目指す

伊藤ハムデイリー株式会社

小樽工場 ES 課課長 岩木 明

北海道地区会員（2020年4月入会）



<会社紹介>

今から25年前の1995年10月に北海道小樽市の石狩湾新港地域に伊藤ハムデイリー株式会社小樽工場として竣工しました。ボイラーの熱源には重油を使用していましたが、2014年10月に念願の都市ガスへのエネルギー転換を実現できました。その際、リスク管理やピーク電力カットを目的にコージェネレーションシステムを導入しました。2018年9月の北海道胆振東部地震を原因として発生したブラックアウト（大規模停電）では停電時に自動的にコージェネレーションシステムが稼働して事務所系統の電力を賄うことで情報伝達手段の確保やパソコンでの管理が継続できて大変助かりました。製造品目はハム・ソーセージを中心に生ハム・ドライ製品・サラミを北海道内はもとより全国に供給しています。当社は北海道・東北・北陸の

地域密着型の企業を目指し、これからもお客様のニーズにきめ細やかに対応し安全・安心な商品を提供します。

<入会の動機>

当工場は竣工後、増築を繰り返して現在に至り、それに伴いエネルギー使用量も増加してきました。第二種エネルギー管理指定工場等に指定されるのが確実になったのをきっかけに、今後どのような省エネ活動をしていったらいいのか？ どのような施策があるのか？ と悩んだ時に、すぐに省エネルギーセンターが頭に浮かび、賛助会員に入会しました。入会により得られる多くの貴重な情報を当工場内で水平展開し、省エネ活動を推進していきます。

<今後の抱負>

まずは基本に立ち戻り、身の丈に合った省エネ活動を押し進めたいと考えています。ハード面での改善はもちろん、それ以外にもソフト面では管理部門が旗振り役になって全員参加型の省エネ活動を実践していきます。そのためにも今後は省エネソリューションや省エネ人材の育成にも力を注いでいきたいと考えており、省エネルギーセンターからの情報を生かしながら、改善活動のPDCAサイクルを回していきます。ご支援をよろしくお願いいたします。

生産性向上と省エネを 両立させた提案で地域に貢献

株式会社天林
専務取締役 九里裕文
北陸地区会員（2019年3月入会）



<会社紹介>

弊社は、2018年7月、仰ぎ見る立山連峰の麓、立山町天林地区の名前をいただき設立した創業3年目の会社です。省エネルギーのコンサルタント会社として事業活動（生産性）の向上と省エネルギーを両立させた事業提案を行うことにより、地域社会や経済の活性化に貢献していくことを目的として、エネルギー全般にわたる診断の実施から、

運用改善・設備改善の提案、資金計画の策定など、具体的かつ実効性のある提案を総合的にコンサルティングする事業を展開しています。

<入会の動機>

省エネルギーセンターにおける各種省エネ講座などの受講を通じて、弊社の省エネ提案スキルの向上を目指していきたいと思いい入会しました。

<今後の抱負>

月刊「省エネルギー」や賛助会員専用サイトの活用及び省エネルギーセンター北陸支部の皆さんとの人的交流を通じた新しい情報・高度な技術情報なども入手可能となり、賛助会員サービスの価値を実感しています。地域の省エネのさらなる進展のためのサポートを実践して、地域貢献していきたいと思っています。

ニッチでユニークな ソリューションを提供し 省エネと環境負荷低減に貢献

サンビル株式会社
代表取締役社長 高松浩司
本部地区会員（2019年11月入会）



<会社紹介>

弊社は1973年に当時の安田火災海上保険株式会社（現損害保険ジャパン株式会社）の関連会社として発足し、設備管理・警備も含めた総合ビルメンテナンス会社として歩んできました。現在ではお客様の快適な就業環境づくりや、企業の社会的使命であるCO₂削減など、環境負荷低減に向けた取り組みに対するソリューションとして、電力・水道料金などのエネルギーコスト削減のための企画提案、商材販売・施工を企業グループ・系列を越えて広く提供しています。これからも、より高いビル価値創造と環境負荷低減に向けたニッチでユニークなソリューションを提供し、お客様の役に立つ「面白い」会社を目指していきます。

<入会の動機>

弊社は数年前にコンティニュームというエアコンの省エネ商材と出会いました。この商材は一見するとわかりにくい物ですが、実はしっかりした科学的根拠に裏打ちされたものであり、いくつかの省エネ先進企業においても実証実験の上で採用されています。しかし、未だ知名度の低いニッチな商材であるため、省エネルギーに関する最新情報の収集や動向を把握することもビジネス拡大には有効であると考え賛助会員に入会しました。

<今後の抱負>

本年1月29～31日に開催された省エネルギーセンター主催のENEX/SEJ/電力・ガス新ビジネスEXPO 2020においては300社を超える来場企業からコンティニュームへのお問い合わせをいただき、現在、100社を超える企業と実証実験を行っています。この実験結果とコンティニュームの有効性は、省エネルギーセンターWEBサイト「省エネ製品・サービス紹介サイト」なども活用しながら、省エネ感度の高い他の会員企業はじめ多くの皆様に広くお伝えしていけたらと考えています。

賛助会員について

当センターは、「省エネを通じて社会に貢献する」を基本方針として、エネルギー管理技術を活用した産業省エネの支援、企業・地域・家庭への情報発信、人材育成支援、省エネを通じた国際貢献などさまざまな分野で活動を展開してします。

これら活動にご賛同いただける企業や団体など各工場、事業所単位で賛助会員にご入会いただきたく随時お申込みを受け付けています。

賛助会員様には、当センターのノウハウを活かし「省エネ」をお手伝いするため様々なサービスを提供していますので、是非ご入会をご検討ください。

賛助会費表

(1口につき)

種別		金額	摘要
燃料使用工場・事業所	特級	100,000 円	燃料消費量が原油換算値で年間 60,000kl 以上の工場、事業所など
	1 級	80,000 円	燃料消費量が原油換算値で年間 30,000kl 以上 60,000kl 未満の工場、事業所など
	2 級	60,000 円	燃料消費量が原油換算値で年間 3,000kl 以上 30,000kl 未満の工場、事業所など
	3 級	40,000 円	燃料消費量が原油換算値で年間 3,000kl 未満の工場、事業所など
電気使用工場・事業所	特級	100,000 円	使用最大電力が 10,000kW 以上の工場、事業所など
	1 級	80,000 円	使用最大電力が 5,000kW 以上 10,000kW 未満の工場、事業所など
	2 級	60,000 円	使用最大電力が 2,000kW 以上 5,000kW 未満の工場、事業所など
	3 級	40,000 円	使用最大電力が 2,000kW 未満の工場、事業所など
自・企 治公業 体共体	1 級	100,000 円	センターの事業に賛同する自治体、公共企業体
本 社 ・ 団 体	1 級	100,000 円	センターの事業に賛同する企業の本社及び団体など
	2 級	50,000 円	センターの事業に賛同する企業の支社（支店）及び団体など

初年度における年度会費額は入会時期毎に異なります。